

30.7.15

昭和29年12月29日(東雲山探査会), 30年1月2日(岩手探査会)
30年1月3日(大阪市大)とナベツガルが1回同様に三
本も切れている、右同は東雲の大高、大阪市の大高
に、対し現場調査を共にしたい旨の書簡をおいた

38

久しく御無沙汰致し申訳ありません

通日は愚弟の遭難につきまして 格別の御世
話様になり 厚く御礼申します。その後

五月初め、六月初めと 探査致しましたが 発見に
いたらず 現在、同行した石原が先月二十八日から
現地におもむいてあります。

実は、以下 勝手なお願いを突然に申しあげる
わけで誠に恐縮至極ですが、もしもお暇を
入れただければ幸甚と存じます。今冬における

ガール切断の原因を究明する事は、貴兄もい
われますように 登山界のために 是非必要な
ことだと思っておりますが、このための一つの方法として 東

雲山探査会と私達と三つの切断現場について
甚だ面倒ではありますが 現地調査をすれば
或は共通の事情が発見されるかもしれな

いと考えます。或は 貴山岳部において既にこの
原因について結論を出され、その必要はないと考
えられてみえるかもしれせんし、或は冬なればと

にかくこの時期に調査しても無意味と考えら
れてみえるかもしれませんが、もしも上記同様

お考えになり 且つ 一諸に調査してもよいとの
御意向でありましたならば 是非そう お願い
致したいと存じます。もし 御都合が悪くて 現
地に 一諸に 行って いただけなるときは 出来うれば
現地につつての 貴兄の 御記憶、何うかの 特徴
なりをお知らせ願えれば 幸々と思ます。 勿論
この場合、当方のみで行う調査は 何ら客観的
な意味を持ちませんが、 樺太をかね 又白に 長
期間入りますので 現地附近でも みてみたいと
思ます。 もし 御一諸に 調査 お願い出来ます
場合は 私達 七月十六日頃から 八月下旬まで 又白
に テントをはさる予定です故 (遺体発見の場
合は撤収すると思ます) その間の 適当な時期
をお知らせ願えれば 幸々と思ます。 私は 七月
二十六日から 八月五日頃までの予定であります。
なお、同様な文意の 御手紙を 東雲山溪会
様に さしあげました。
突然 且つ 決然なことを 申上げて 誠に 相済みせん
末筆ですが、皆様の 御健斗を 衷心 お祈
り申して あります。

七月十三日

石岡繁雄

大島健司様